卓球・ノジマTリーグ

2019~2020シーズン 開幕

日本ペイントマレッツは、8月31日に開幕を迎えました。
香港,中国、タイから新戦力も迎え、
プレーオフ進出を目指して全力で戦います。

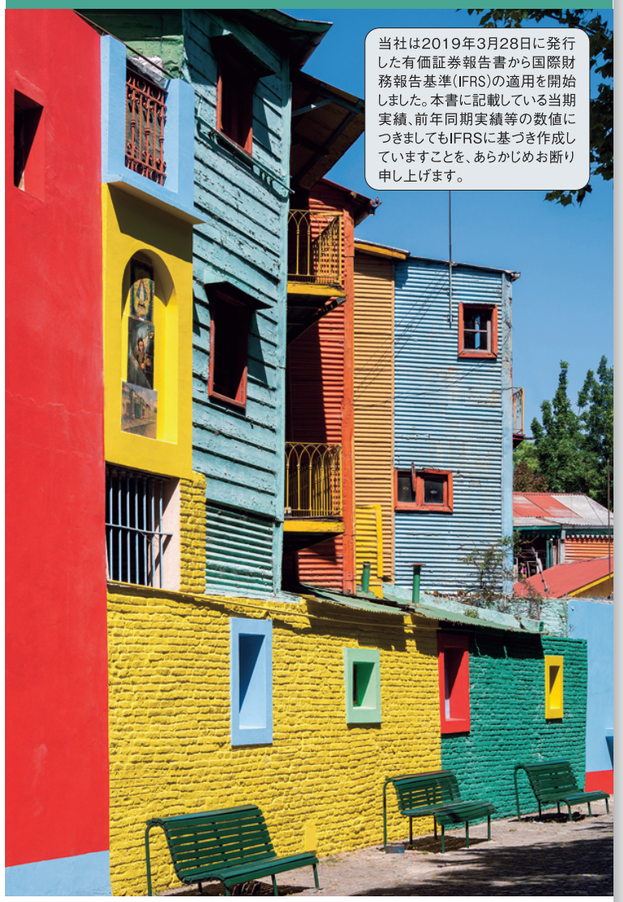
**当社女子卓球部「日本ペイントマレッツ」の
ご声援、よろしくお願い申し上げます。**

フォロー、お願いします!
〈日本ペイントマレッツ公式Twitterアカウント〉
@NPHD_Mallets

株主のみなさまへ

第194期 中間報告書

2019年1月1日～2019年6月30日



当社は2019年3月28日に発行した有価証券報告書から国際財務報告基準(IFRS)の適用を開始しました。本書に記載している当期実績、前年同期実績等の数値につきましてもIFRSに基づき作成していますことを、あらかじめお断り申し上げます。

世界の彩りのある街並み・アルゼンチン カミニート

首都ブエノスアイレスの一角にあるカミニート。カラフルな街並みは、その昔、イタリア系移民が業者の余った塗料を有効活用するため塗装したことから始まった、と伝えられています。

日本ペイントホールディングス株式会社
Basic & New

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社グループの第194期第2四半期連結累計期間（2019年1月1日～2019年6月30日）の業績について、ご報告申し上げます。なお、当社は3月28日に発行した有価証券報告書から国際財務報告基準（IFRS）を適用しています。これにともない、本書に記載している業績数値につきましてもIFRSに基づき作成しておりますことを、あらかじめお断り申し上げます。

売上収益については、為替変動の減効果があり、前年同期と比較して微減となりました。営業利益は、前年同期に中国で環境規制に伴う工場退去の補助金収入などがあった一方、当期は当該収入が少なかったことから減少しました。税引前利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益については、それぞれ減少しました。セグメント別では、日本は売上収益が増加した一方で、原材料価格の上昇やM＆A費用等の影響により営業利益は減少しました。アジアでは自動車用塗料の売上収益が減少した一方で、中国の住宅内装用・建築外装用塗料は好調に推移しました。これらに加えて為替変動の減効果等により売上収益は微減となり、営業利益は原材料価格が下落した一方で前年同期に中国で環境規制に伴う工場退去の補助金収入があったことから微増となりました。米州の売上収益は微増となり、販管費が増加したことから営業利益は減少しました。

なお、当期の中間配当は2月13日公表のとおり、22円/株とさせていただきました。期末配当は23円/株を予定しており、通期では過去最高となった前期と同額の45円/株となる見込みです。

当社は本年4月17日に、豪州・ニュージーランド（以下ANZ）を中心に塗料・DIY用品製造販売事業を展開するDuluxGroup Limited（以下Dulux）の子会社化を発表しました。DuluxはANZ塗料市場においてシェアトップ（当社推計）を誇ります。当社連結売上収益のうち約57%を中国・アジアが占めていますが（2018年度実績）、Dulux子会社化によりバランスの取れた地域ポートフォリオを確立することが可能となりました（Dulux子会社化については、P7・8にも記事を掲載しています）。これに加えて、トルコの建築用塗料市場におけるトッププレーヤーであるBetek Boya（以下Betek）の株式を取得し、子会社としました。トルコ経済は不透明な状況ですが、中長期的には成長が期待でき、Betek子会社化は当社グループの企業価値・株主価値向上に貢献するものと考えています。

昨年発表しました中期経営計画「N-20」の重点施策の一つとして「ポートフォリオ拡充の加速」を株主の皆様にお約束しました。今回のDulux・Betek子会社化は、まさしくこれに資するものと考えています。今後も「新たな価値を創造し続けるリーディングカンパニー」となることを目指し、日々の経営に尽力してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き長きにわたり一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

第194期 第2四半期連結累計期間決算

売上収益	**3,124**億円（前年同期3,132億円、△0.3%）
営業利益	**419**億円（前年同期 448億円、△6.5%）
税引前利益	**424**億円（前年同期 456億円、△7.2%）
親会社の所有者に帰属する四半期利益	**209**億円（前年同期 238億円、△12.1%）

代表取締役社長 兼 CEO 田堂哲志

連結決算の概要

四半期連結財政状態計算書の要旨

（単位：億円）

科　目	前　期 2018年12月31日現在	当　期 2019年6月30日現在
流動資産	4,442	4,630
非流動資産	5,097	5,279
資産合計	9,539	9,910
流動負債	2,157	2,674
非流動負債	905	974
負債合計	3,063	3,649
資本金	788	788
資本剰余金	632	631
自己株式	△64	△64
利益剰余金	3,902	4,038
その他の資本の構成要素	△59	△369
非支配持分	1,275	1,236
資本合計	6,476	6,261
負債及び資本合計	9,539	9,910

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して188億円増加しておりますが、主な要因は、現金及び現金同等物が減少した一方で、営業債権及びその他の債権が増加したことなどによるものです。また、非流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して181億円増加しております。主な要因は、IFRS第16号の適用に伴う有形固定資産の増加などによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して585億円増加し、3,649億円となりましたが、主な要因は、IFRS第16号の適用や為替予約に伴うその他の金融負債の増加などによるものです。

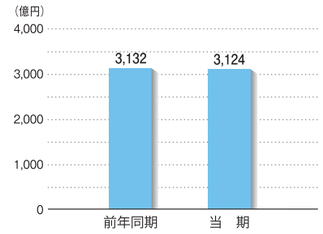
資本につきましては、前連結会計年度末と比較して215億円減少し、6,261億円となりました。主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、為替換算調整勘定が減少したことなどによるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の54.5%から50.7%となりました。

四半期連結損益計算書の要旨

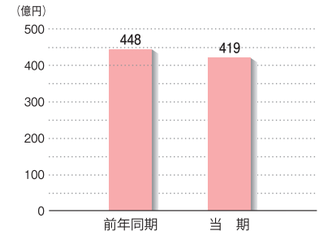
売上収益
3,124億円

為替影響を除く実質ベースでは増収



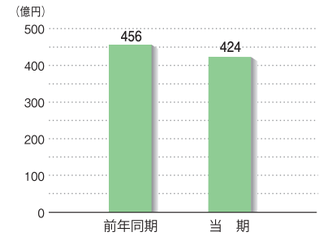
営業利益
419億円

為替影響・今年度特殊要因等を除く実質ベースでは増益



税引前四半期利益
424億円

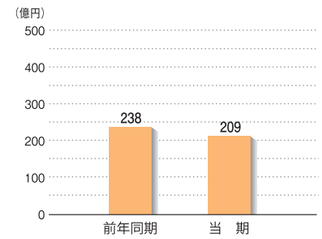
7.2%の減少



※四半期利益
209億円

12.1%の減少

※親会社の所有者に帰属する四半期利益



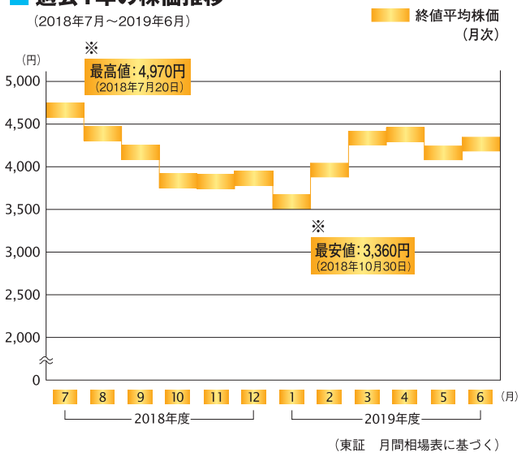
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：億円）

科　目	前　期 自 2018年1月 1日 至 2018年6月30日	当　期 自 2019年1月 1日 至 2019年6月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	223	354
投資活動による キャッシュ・フロー	△83	△342
財務活動による キャッシュ・フロー	△147	△103
現金及び現金同等物に係る 為替変動による影響	△19	△13
現金及び現金同等物の 期首残高	1,018	1,296
現金及び現金同等物の 四半期末残高	991	1,192

過去1年の株価推移

（2018年7月～2019年6月）



（東証　月間相場表に基づく）

※2018年7月から2019年6月までの期間の最高値・最安値

お知らせ

2018年12月期　株主優待における社会貢献活動への寄付のご報告

2019年株主優待（2018年12月31日現在で100株以上保有の株主様が対象）におきまして、昨年に引き続き優待品の一つとしてご用意させていただいた「社会貢献活動への寄付」（特製こども卓球台の寄贈）に対して、多くの株主様にお申し込みいただきました。この結果、金額にして約330万円となり、特製こども卓球台33台を全国の小学校・幼稚園・保育園等に寄贈することとなりましたので、ご報告申し上げます。

当社は次回以降の株主優待においても優待品として「社会貢献」を設定し、株主様のお力を得て、社会貢献活動を継続してまいります。

昨年、特製こども卓球台を寄贈した社会福祉法人わかば保育園（大阪市生野区）にて

公式YouTubeチャンネル開設のお知らせ

この6月末に、当社は公式YouTubeチャンネルを開設しました。

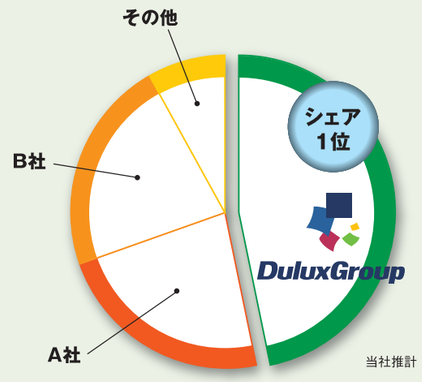
当チャンネルでは、当社グループの活動に加えて、「塗料」をより身近に感じていただけるような製品、技術、海外グループの取り組みや創業者のエピソードを通じて描いた当社の経営理念など、さまざまな内容の動画をアップしています。塗料業界に興味を持っていただき、「面白い」と感じていただける内容を広く配信してまいりますので、是非ご覧ください。

日本ペイントホールディングスグループ公式YouTubeチャンネル
URL:https://www.youtube.com/channel/UCnzJbOdSo0rXkRfgyJ3dGCg

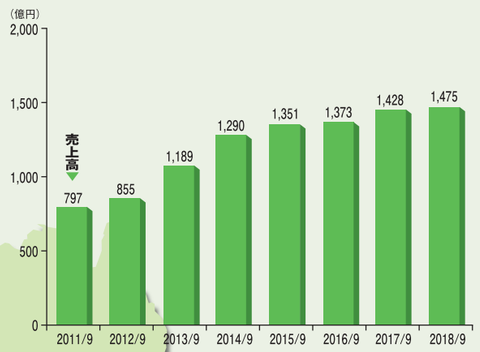
DuluxGroupって、どんな会社?

当社は、本年4月に豪州塗料メーカー・Dulux Groupの子会社化を発表しました。
ここでは、DuluxGroupの概要と子会社化の 狙い等についてご紹介します。

豪州・ニュージーランド塗料市場でトップシェアを誇るDuluxGroup

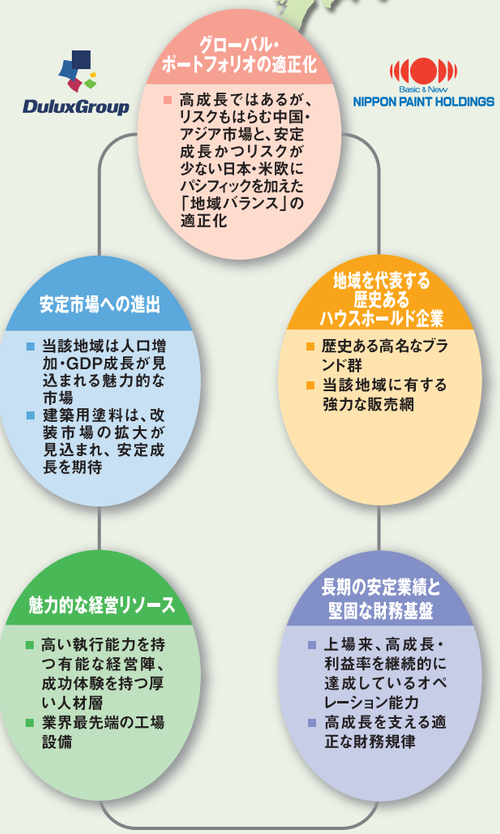


豪州証券取引所上場以来、8年にわたり高い売上高成長を続けてきた優良企業



DuluxGroup Annual Reportより　1豪ドル=80円で換算

DuluxGroup子会社化が当社企業価値・株主価値向上に貢献する5つの理由



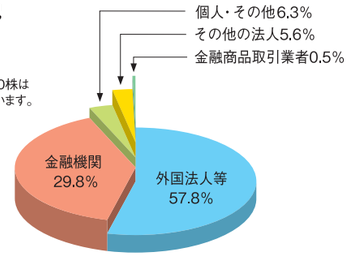
本　　社	〒531-8511 大阪市北区大淀北 2-1-2 TEL 06-6458-1111
創　　業	明治14年（1881年）3月14日
資　本　金	788億6千2百万円
主要な事業内容	グループ戦略立案ならびに各事業会社の統括管理

株式状況

発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	325,402,443株
株　主　数	8,086名

所有者別分布状況
（株式数比率）

※自己保有株式4,618,550株は「個人・その他」に含めています。



大株主 ※1

株　主　名	持株数	持株比率 ※2
NIPSEA INTERNATIONAL LIMITED ※3	126,906（千株）	39.5（%）
HSBC BANK PLC A／C 792827	14,474	4.5
N A T I X I S	12,357	3.8
日本生命保険相互会社	10,817	3.3
住友生命保険相互会社	10,750	3.3
株式会社三井住友銀行	9,999	3.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	8,098	2.5
株式会社三菱UFJ銀行	7,133	2.2
三井住友信託銀行株式会社	7,053	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	6,085	1.8

※1 当社は、自己株式4,618,550株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を除いて算出しております。
※2 持株数は千株未満、持株比率は小数点第2位未満を切り捨てております。
※3 NIPSEA INTERNATIONAL LIMITEDは、当社取締役 ゴー・ハップジン氏がManaging Directorを務めるWUTHELAM HOLDINGS LTD.の100%子会社です。

役員（2019年6月30日現在）

代表取締役会長	田中　正明
代表取締役社長兼CEO	田堂　哲志
代表取締役常務執行役員	南　学
取締役常務執行役員	白幡　清一郎
取締役常務執行役員	永阪　淳
取締役	ゴー・ハップジン
社外取締役	原　壽
社外取締役	筒井　高志
社外取締役	諸星　俊男
社外取締役	金子　恭規
社外取締役	中村　昌義
常勤監査役	三輪　宏
常勤監査役	川邉　統也
社外監査役	生沼　寿彦
社外監査役	脇田　一郎
社外監査役	岡澤　雄

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	3月中
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
公告方法	電子公告により行う。 https://www.nipponpaint-holdings.com/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。